

アゼルバイジャンの風景

2014年10月 人々と語り合う

ジョージ石井



アゼルバイジャンの風景 2014年10月 人々と語り合う

【もくじ】

| | |
|----------------|----|
| 地図と旅行日程 | 1 |
| アゼルバイジャンはどんな国? | 2 |
| 火の国 | 3 |
| 古代の火が燃える拝火教寺院 | 8 |
| 北部の街グバ | 17 |
| 古都シェキヘ | 26 |
| シェキ郊外の街キシユ | 33 |
| 北西部の街ギャンジャ | 39 |
| バクーの慰霊公園 | 45 |
| バクー大学を訪問 | 49 |
| 帰国日のハブニング | 55 |
| あとがき | 56 |



ガイドブック

アゼルバイジャンの旅の本は「地球の歩き方」(ダイヤモンド社)ロシア編に10ページ記載があった。それもバクーとその郊外の紹介のみである。他に「旅行人」という雑誌のコーカサステマ(2011年上期号)に写真中心の紀行文(12ページ)がある。英文で書かれたロンリープラネット社のコーカサスの本(インターネットで購入できる、送料込みで2,250円)が一番詳しく、この本を中心に旅の計画を作った。その他、コーカサス関係の本を何冊か県の図書館で借りて読み、知識を得た。



安全情報

治安は良いが、夜間の一人歩きは避けた方が良い。隣国アルメニアと紛争が続いているので、国境周辺やアルメニア占領地域は近づかないようにしたい。これらの地域について、外務省から「渡航延期」の警告が出ている。

★表紙(古都シェキの隊商宿キャラバンサライ)ほか挿絵はサークル仲間のKさんに描いてもらった。裏表紙の写真は、私の機内持ち込み用バッグ(縦横幅は48×39×18cm)。6年前の世界一周の時もこのバッグ(リュックにもなる 十数年使っている)1つで旅をした。「地球旅遊」の旅雑誌や本を通じ、最低限の荷物で旅することを学ぶ。